7．㋐ 交換担当の実態

(1) 実施学年

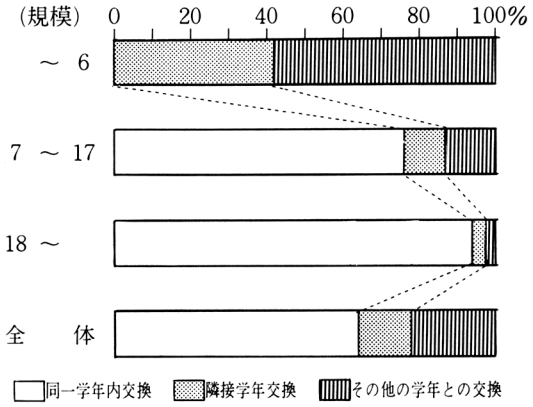
各学年別に実施されている，交換授業の比率を示したのが，第13表である。また交換の範囲を図示したのが第３図である。

第13表　交換担当実施学年

%

学年＼規模	小 ～6	中 7～17	大 18～	全　体
1	4.6	0.3	・	1.4
2	5.4	4.3	6.8	5.5
1・2	6.2			1.7
3	16.2	14.2	18.3	16.2
4	11.9	12.2	24.3	16.4
3・4	5.4			1.5
5	23.5	34.9	24.3	28.0
6	22.7	34.1	26.3	28.2
5・6	4.1			1.1

第３図　交換の範囲



実施学年の特徴的なことは，高学年になるほど実施比率も高くなり，５年・６年が最も高率であること。また，学校規模による大きな相違は認められないことである。

また交換の範囲をみると，中規模校・大規模校の場合に同学年内交換が約90～80%を占めている。小規模校の場合は，同学年交換はありえないから，当然交換の範囲が拡がり，交換学年もさほど問題にならないものと考えられる。

(2) 実施教科

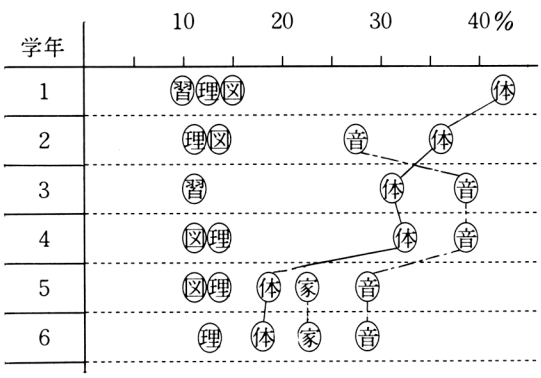
第14達は，実施教科の比率を規模ごとに示したものであり，第４図は、学年別に実施教科の主なものを示したものである。

第14表　学校規模別交換担当実施教科

%

教科＼規模	小 6～	中 7～17	大 18～	全　体
国　語	・	0.9	1.1	0.7
習（作）	5.4	4.5	6.8	5.6
社　会	3.1	6.8	6.3	5.6
算　数	・	0.3	・	0.1
理　科	9.6	9.1	12.6	10.5
音　楽	36.2	30.7	24.3	29.9
図　工	10.0	9.1	9.9	9.6
家　庭	9.6	15.3	13.2	13.1
体　育	26.1	23.3	24.3	24.4
道　徳	・	・	1.5	0.5

第４図　交換授業の学年別教科（10%以上）



主な教科として，全体的に音楽，体育が目をひき，ついで家庭，理科，図工の順であげられる。規模別にみた場合でも，家庭，図工，理科の順位にちがいはあるが，傾向としては同様である。

学年別にみた場合でも，とりあげられる主教科は，これまでとほぼ同様である。低学年・中学年・高学年には，その特徴がでているといえる。これは，担当教師の性別，交換時数などとも関係していることを考える必要がある。